



水辺で餌を探すバン（クイナ科）の親子



静かに水面の様子（餌の動き）をうかがうアオサギ

泡瀬干潟の鳥類

泡瀬干潟とその周辺地域から、いままで 165 種の鳥類が確認されています。その中でも、最も多いのがチドリ目で全体の 4 割近い 60 種が記録されています。このチドリ目の中でもシギ・チドリ類やカモメ科が占めているのが、泡瀬干潟の鳥類相の特徴です。この他にも、スズメ目やカモ目も多く確認されており、泡瀬干潟に生息する鳥類が、干潟やその背後に広がる比屋根湿地などの水辺環境と大きく関係していることが明らかになっています。

いままで繁殖が確認されている水鳥は、バンとシロチドリです。夏に渡ってくる鳥（夏鳥）としては、ベニアジサシ、エリグロアジサシ、コアジサシなどです。このコアジサシは、泡瀬干潟域の砂州で繁殖します。そのほかの特徴的な種は、**環境省の絶滅危惧 I A 類**に指定されているクロツラヘラサギが毎年数羽越冬します。